

令和 4 年 2 月 18 日	通告順序
午前・後 10 時 41 分 受領	3

令和 4 年 2 月 18 日

会津美里町議会議長 横山 知世志 様

会津美里町議会議員 11 番 堤 信 也 

一 般 質 問 通 告 書

令和 4 年 定例会 3 月会議において、次のことについて質問したいので、
会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により通告します。

(注) 1. 質問の要旨は、具体的に記載すること。

2. 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。

質問事項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 少子化 対策につい て	① 子育て支援 ・令和 2 年度における本町の合計特殊出生率は 1.51 で 全国平均の 1.34 よりは上回っているものの、県平均の 1.56 よりは下回っている。まち・ひと・しごと創生人 口ビジョンに掲げる合計特殊出生率を 2040 年までに 2.11 まで上昇させるという目標を達成するのは困難な のではないかと危惧するところである。現状を踏まえた 上でどのようにして目標を達成するのか考えを示せ。 ・共働き世帯にとって、育児は時間的負担や精神的負担 が大きく、第 2 子、第 3 子を望む際の障壁になってい ると認識する。制度を十分に理解できず、活用できてい ない世帯が多い。このことから、育児に対する支援制度 の情報発信に力を入れるとともに、ニーズ調査が必要と	町 長 教育長

質問事項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	考えるが見解を示せ。 ② 不妊治療支援 ・厚生労働省は、令和４年４月より不妊治療を公的医療保険の対象として拡大するための検討を始めた。これまでも、不妊治療の助成制度を拡大するなど、少子化対策を行ってきており、それに伴い治療を受ける夫婦も増加傾向にある。しかしながら、治療が長期間にわたることや、女性の身体に相当な負担が掛かることなどについての社会の理解と受け入れが進まなければ、本当の意味での不妊治療の支援にはならないと考える。企業や町民に向けたセミナーや町民教室の開催、あるいは広報あいづみさなどによる周知活動を行い、不妊治療についての社会全体の理解を深めていくべきと考えるが見解を示せ。 ・不妊治療は、女性にも男性にも心理的抑圧が掛かり、人に言えない症状として精神的な負担も相当なものである。国では医療機関などの専門機関にカウンセラーやコーディネーターを配置し、治療前や治療後の精神的なケアに取り組んでいるが、今後は相談窓口を設けるなど町としても対応していくべきと考える。町のこれまでの取り組みを示した上で、今後の考えについて見解を示せ。 ・国や県による不妊治療の支援が進んだとしても、通院費や資料収集、生活の変化による支出増など治療以外の経費が掛かってしまうと認識する。一時金の支給など、町独自の経済支援策が必要と考えるが見解を示せ。 ③ 住宅支援 ・新婚世帯は何かと出費が多く、また本町若年層の平均所得でアパートを借りることすら経済的には苦しい状	

質問事項	質問の要旨	質問の相手
	況であると認識する。町営住宅は公営住宅法に基づき、住宅に困窮する低額所得者に対応する住居保障を目的として憲法第25条の生存権を根拠に整備されている。とは認識するものの、障がい者や高齢者などを裁量世帯として政策的に運用してきた経緯もある。結婚してから数年は優先的に入居できるようにし、さらには家賃の特別減免を行うことにより、経済的負担を緩和することは少子化対策に有効と考えるが見解を示せ。 ・子育てのために一軒家で生活したいという方も多い。人間が快適と感じる空間には絶対領域があり家族間のプライバシーも大切な問題である。賃貸アパートや公営住宅と比較した場合、一軒家の方が多子の傾向があると認識することから、町内、特に中心市街地にある空き家を町が借り上げ、新婚世帯に所得に応じた安価な家賃で提供すれば少子化対策として有効に機能し、また空き家対策にもなると考えるが見解を示せ。 ・出産や育児の不安から妊娠を望まない家庭もあるが、親との同居により不安を解消して出産や育児を行っている家族も多く見受けられる。しかし、生活時間の差異や食生活の嗜好などにより同居が長続きせずに単子で終わってしまうケースも多い。同居する家族の世代間ギャップを解消する一つの手法として、多世代同居型住宅へのリフォームがあるが、費用も相当となる。少子化対策のみならず、独居老人対策、家族の絆の稀薄問題など様々な問題を総合的に解決することにもつながることから、多世代同居型住宅へのリフォームに対し助成を行い、住環境支援をしていくべきと考えるが見解を示せ。	

質問事項	質 問 の 要 旨	質問の相手
2. 地域共生社会について	④ 教育支援 ・少子化の影響により町内の小・中学校においては児童生徒数の減少に歯止めが掛からず、クラス数も減少している。このことにより配置される教員の数や運営予算が減少し、学力向上や課外活動、ひいては子どもたちの学校生活全般に少なからず支障をきたしていると認識している。今後、少子化の影響で適正規模に至らない学校における課題を示せ。	町 長
	⑤ ジェンダー格差 ・相模女子大学大学院の白河桃子特任教授の「ジェンダー格差の解消が最高の少子化対策」の文章の中で、兵庫県豊岡市「ジェンダーギャップ解消宣言」をした都市で前市長が男性は戻っても女性が戻らないことに気付き高校卒業時に出ていく若者たちの 20 代をみると、男性は半分戻るのに、女性は 25%しか戻ってこない、豊岡市は女性に選ばれていないと実感したことが政策転換のきっかけとなったと言います。男女とも若者が東京をはじめ大都会に向かうのは、やりたい学びや仕事ができる場所が理由でふわふわした憧れではない。男女差としては女性の方が出て行って帰ってこない。女性が地方を出ていく理由の第 2 位が親元を離れたかったといいます。本町の 10 代で転出した人と 20 代で転入してきた人の割合を男女比で示せ。	
	① ひきこもりとヤングケアラー支援 ・ひきこもりは子どもの問題だけではなく、中高年層や女性のひきこもりも増え、社会問題化している。また、ヤングケアラーは、国の調査によれば中学生の 17 人に 1 人、高校生で 24 人に 1 人いるとされている。ひきこもりやヤングケアラーは家庭内の問題で、実情	

質問事項	質 問 の 要 旨	質問の相手
3. 博士トンネル開通について	が見えにくい上に新型コロナウイルス感染症が猛威をふるう中、外出自粛でさらに問題が深刻化していると考え。本町におけるひきこもりやヤングケアラーの人数等を把握していれば示せ。また、今後どのような支援をしていくのか示せ。	町 長
	② 地域共生社会と伴走型支援	
	・かつては地域の相互扶助があったが、今は支え合いの基盤が弱まり孤立するケースが多くなっている。一方、地域共生社会の役割は広がり、困難を持つあらゆる人を地域で支える仕組みが求められている。様々な困難を抱えた場合でも、社会から孤立せず、安心してその人らしい生活を送ることができる社会の実現と問題解決には、行政と協働する地域共生社会の取り組みが重要と考えるが、どのようなネットワークを構築し、社会的孤立者を支援していく考えか見解を示せ。	
	・ひきこもりやヤングケアラーは、社会的困窮や生活困窮などと複雑化・複合化した支援ニーズの課題があり地域共生社会の支援とともに伴走支援が必要と考える。地域共生社会や伴走支援を下支えするための仕組みを作るためには行政の役割が重要と考えるが、行政の果たす役割について認識を示せ。	
	・福島県管理では最長となる、国道 401 号線博士トンネルが昨年 7 月 2 日昭和村側工区で、カウントダウンとともに発破されトンネル工事着工から本町側、昭和村側の両方から掘削を進め 974 日目で工事の節目である貫通を迎えた。11 月 26 日にはトンネルの貫通を記念し作成した記念碑として各々の町村に設置する貫通石の除幕式が行われた。そこで、美里町側、昭和村側のトンネルの入口に本町であればあやめの花、昭和村であれば	

質問事項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	仮にカスミソウであつたりを描いて後世に残せないものかと考えるがイメージ的には磐越道のトンネルを思い浮かべていただけたら理解できると思う。まだ施行中であり、発注者と協議し町の観光資源でもあるあやめの PR も含め検討できないか見解を伺う。合わせて開通式の際のイベントなど考えがあれば所見を伺う。 以 上	